

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2018年8月10日

**【四半期会計期間】** 第42期第1四半期(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

**【会社名】** 株式会社エイジス

**【英訳名】** AJIS CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 齋藤 昭生

**【本店の所在の場所】** 千葉県千葉市花見川区幕張町四丁目544番4

**【電話番号】** 043(350)0888 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務経理部長 西岡 博之

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県千葉市花見川区幕張町四丁目544番4

**【電話番号】** 043(350)0567

**【事務連絡者氏名】** 財務経理部長 西岡 博之

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年6月30日	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高 (千円)	5,578,823	5,778,368	26,870,001
経常利益 (千円)	279,674	349,869	3,309,438
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	145,273	213,800	2,237,787
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	146,196	191,789	2,364,812
純資産額 (千円)	11,379,240	13,283,116	13,600,858
総資産額 (千円)	14,462,354	16,483,600	17,876,486
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	16.50	24.28	254.13
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	77.8	79.5	75.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が行う事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが続くなか、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。米国の新政権による政策動向や、中国をはじめとするアジア新興国の経済動向等、世界経済の不確実性により先行き不透明な状態が継続いたしました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましても、業態を超えた販売競争の激化および人件費の高騰等により引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画（2017年度～2019年度）の2年目として計画に基づいて事業を展開し、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。また、当社の非連結子会社であったAJIS (Vietnam) CO., LIMITEDを当第1四半期より新規連結しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,778百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益334百万円（前年同四半期比23.3%増）、経常利益349百万円（前年同四半期比25.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円（前年同四半期比47.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

#### 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、既存顧客の出店増、実施日程枠の拡大による棚卸実施店舗数増およびストックルームのカウンタ実施等による棚卸実施範囲拡大等により、増収となりました。また、利益面においては前期に引き続きカウンタ作業生産性が大きく伸長したため、大幅な増益となりました。売上高は3,584百万円（前年同四半期比2.9%増）セグメント利益は297百万円（前年同四半期比115.2%増）となりました。

#### リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、新規出店時や店舗改装時の陳列業務、および店舗商品補充業務の受注拡大により、前期に引き続き売上増加基調で推移しております。利益面においては契約社員の正社員登用等の体制強化のための販売管理費増により減益となりました。売上高は1,735百万円（前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益は64百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。

#### 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、前期のエイジスビジネスサポート株式会社（エイジス韓国）の決算月変更とともない前年同四半期の対象月がずれ込んだこと、体制強化のための販売管理費増およびAJIS (Vietnam) CO., LIMITEDの新規連結等により、減収・減益となりました。売上高は457百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント損失は31百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益計上）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

財政状態は、以下の通りであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,483百万円(前連結会計年度比7.8%減)となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,200百万円(前連結会計年度比25.1%減)となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,283百万円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(3)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は19百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2018年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2018年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,771,200	10,771,200	東京証券取引所 J A S D A Q ( ス タ ン ダ ー ド )	単元株式数は100株で あります。
計	10,771,200	10,771,200	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年4月1日～ 2018年6月30日		10,771,200		475,000		489,480

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2018年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2018年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,965,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,794,400	87,944	-
単元未満株式	普通株式 11,200	-	-
発行済株式総数	10,771,200	-	-
総株主の議決権	-	87,944	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が400株(議決権4

個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式が68株、証券保管振替機構名義の株式が40株含まれております。

【自己株式等】

2018年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エイジス	千葉県花見川区幕張町 四丁目544番4	1,965,600	-	1,965,600	18.25
計	-	1,965,600	-	1,965,600	18.25

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,690,632	8,191,117
受取手形及び売掛金	3,971,197	2,785,595
貯蔵品	46,039	46,363
その他	215,055	228,582
流動資産合計	12,922,925	11,251,658
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	860,177	914,115
有形固定資産合計	2,136,572	2,190,510
無形固定資産		
のれん	162,396	178,710
その他	421,660	408,335
無形固定資産合計	584,056	587,045
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584,735	1,875,809
その他	648,195	578,576
投資その他の資産合計	2,232,931	2,454,385
固定資産合計	4,953,560	5,231,941
資産合計	17,876,486	16,483,600
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	77,255	77,042
1年内返済予定の長期借入金	2,352	2,628
未払金	2,200,460	1,849,951
未払法人税等	598,991	148,178
賞与引当金	431,222	230,551
役員賞与引当金	20,641	4,183
その他	843,463	799,879
流動負債合計	4,174,388	3,112,415
固定負債		
長期借入金	17,351	16,490
退職給付に係る負債	11,240	12,600
その他	72,647	58,977
固定負債合計	101,240	88,068
負債合計	4,275,628	3,200,484



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	492,088	492,088
利益剰余金	14,826,518	14,535,320
自己株式	2,463,941	2,464,081
株主資本合計	13,329,665	13,038,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,891	79,636
為替換算調整勘定	10,374	12,543
その他の包括利益累計額合計	96,266	67,093
非支配株主持分	174,925	177,695
純資産合計	13,600,858	13,283,116
負債純資産合計	17,876,486	16,483,600

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	5,578,823	5,778,368
売上原価	4,277,468	4,297,240
売上総利益	1,301,355	1,481,127
販売費及び一般管理費	1,029,915	1,146,356
営業利益	271,439	334,771
営業外収益		
受取利息	2,320	4,257
受取配当金	4,880	5,429
受取賃貸料	5,401	5,643
その他	5,771	7,103
営業外収益合計	18,374	22,435
営業外費用		
支払利息	251	573
為替差損	6,887	3,313
賃貸費用	2,618	2,727
その他	381	722
営業外費用合計	10,139	7,336
経常利益	279,674	349,869
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,999
特別利益合計	-	3,999
税金等調整前四半期純利益	279,674	353,869
法人税等	123,462	132,817
四半期純利益	156,212	221,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,939	7,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	145,273	213,800

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	156,212	221,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,815	6,255
為替換算調整勘定	15,831	23,006
その他の包括利益合計	10,015	29,262
四半期包括利益	146,196	191,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,275	184,626
非支配株主に係る四半期包括利益	10,920	7,163

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

財務内容の開示をより充実する観点等から当第1四半期連結会計期間より、AJIS (Vietnam) CO., LIMITEDを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
減価償却費	78,848千円	88,114千円
のれんの償却額	-千円	9,185千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月29日 定時株主総会	普通株式	352,226	80.0	2017年3月31日	2017年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	484,304	55.0	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,485,237	1,620,291	473,295	5,578,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,471	10,749	-	33,220
計	3,507,708	1,631,040	473,295	5,612,044
セグメント利益	138,263	128,411	1,434	268,108

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	268,108
セグメント間取引消去	3,330
四半期連結損益計算書の営業利益	271,439

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポートサービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,584,749	1,735,637	457,981	5,778,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,624	1,609	-	24,233
計	3,607,374	1,737,246	457,981	5,802,602
セグメント利益又は損失( )	297,518	64,219	31,570	330,168

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	330,168
セグメント間取引消去	4,602
四半期連結損益計算書の営業利益	334,771

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16.50円	24.28円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	145,273	213,800
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	145,273	213,800
普通株式の期中平均株式数(株)	8,805,672	8,805,514

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年8月10日

株式会社エイジス  
取締役会 御中

### 三優監査法人

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 増 田 涼 恵 印

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 井 上 道 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エイジスの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エイジス及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。